

レファレンスセンター等報告

16. HIV関連

議 題

議題1：HIV発生動向、検査体制に関する情報交換

- 検査体制(総括)；神奈川衛研 近藤真規子先生
- 検査体制（東京）；東京健安セ 長島真美先生
- 発生動向（総括）；感染研 松岡

議題2：今後のネットワーク維持に関する意見交換

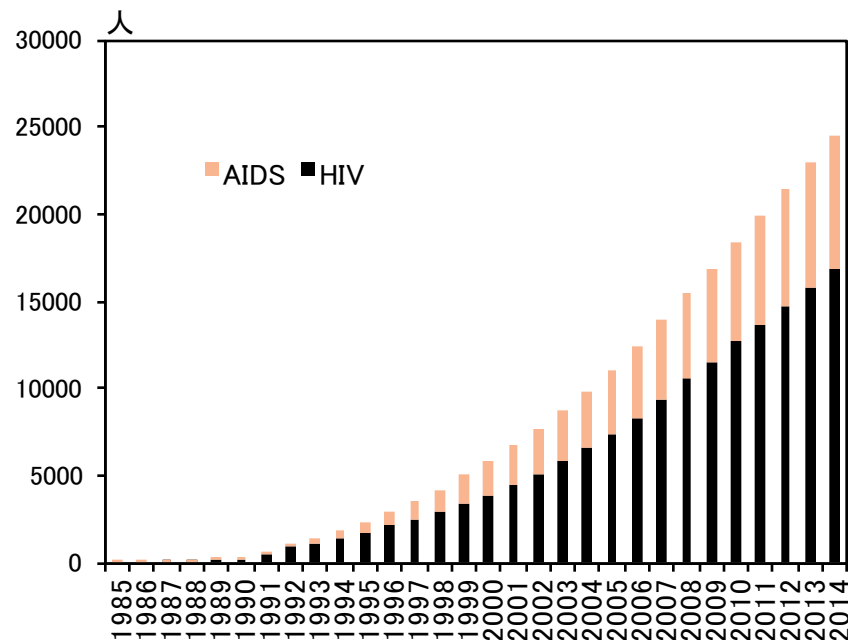
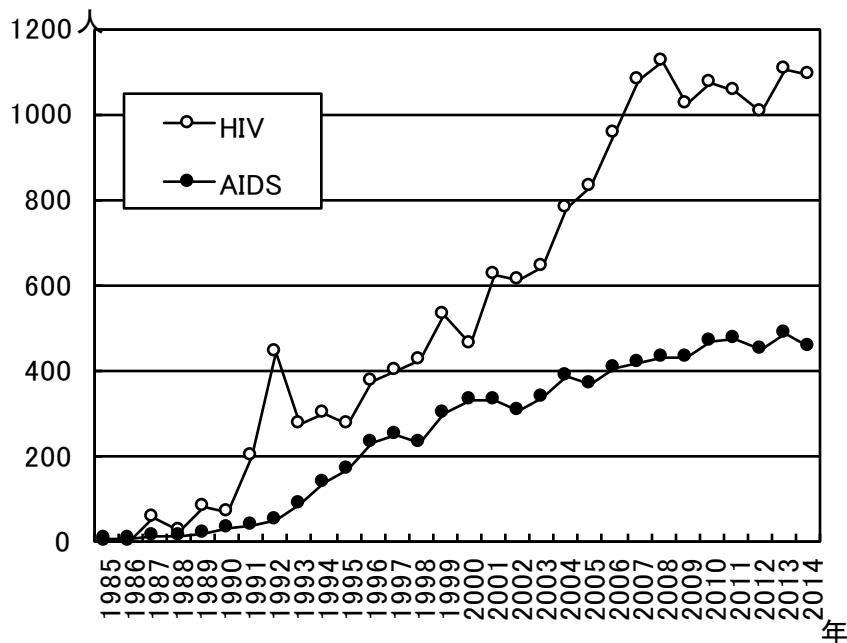
日本国内におけるエイズ発生動向 2014年末時点

2014年新規報告件数 1546件(過去3位)

HIV感染者 1,091件, AIDS患者 455件

累積報告数 24,561件

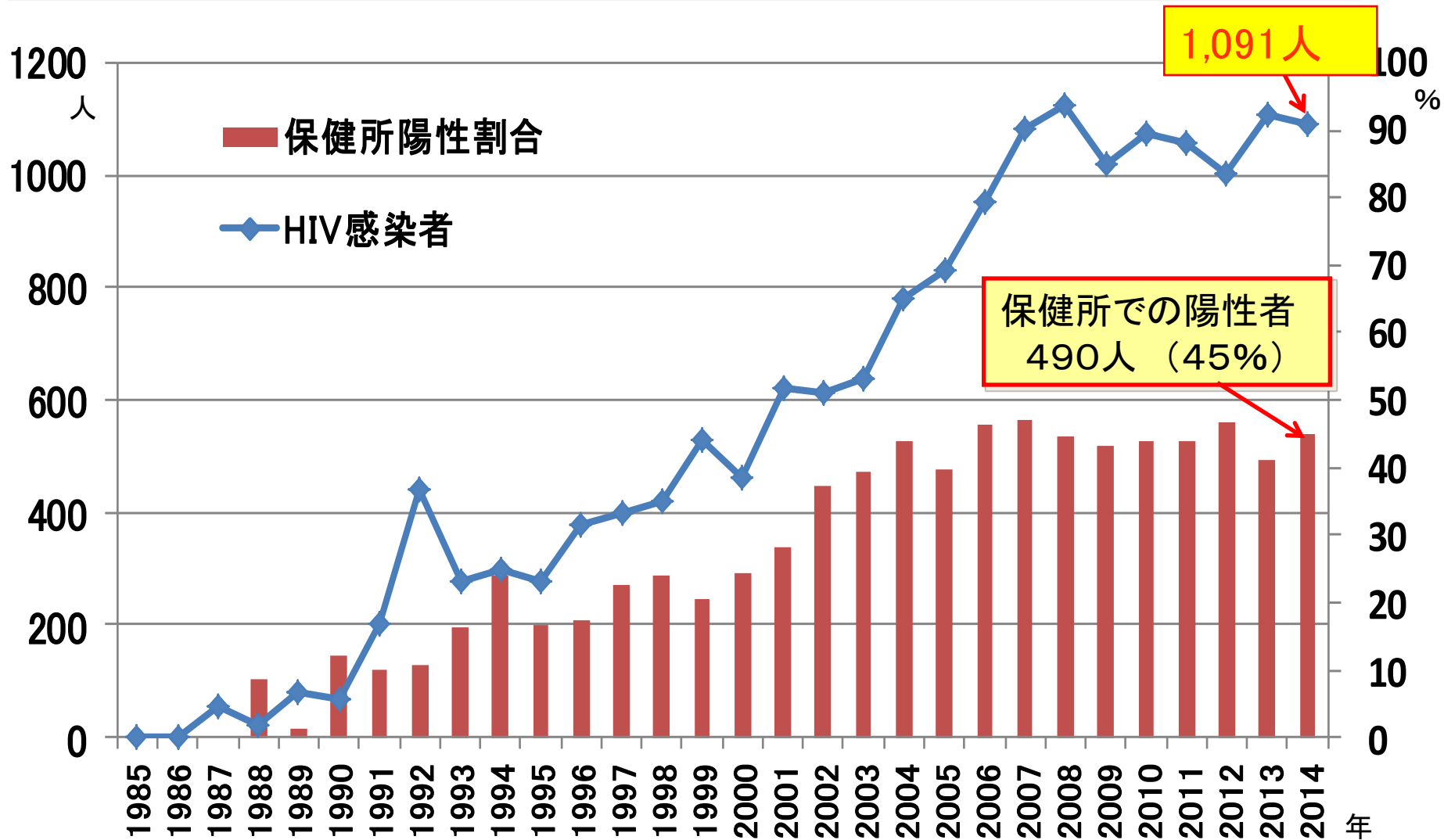
(凝固因子による感染を除く)



・新規報告数は1500件前後で推移。新規報告数のうちエイズ患者が3割を占める。

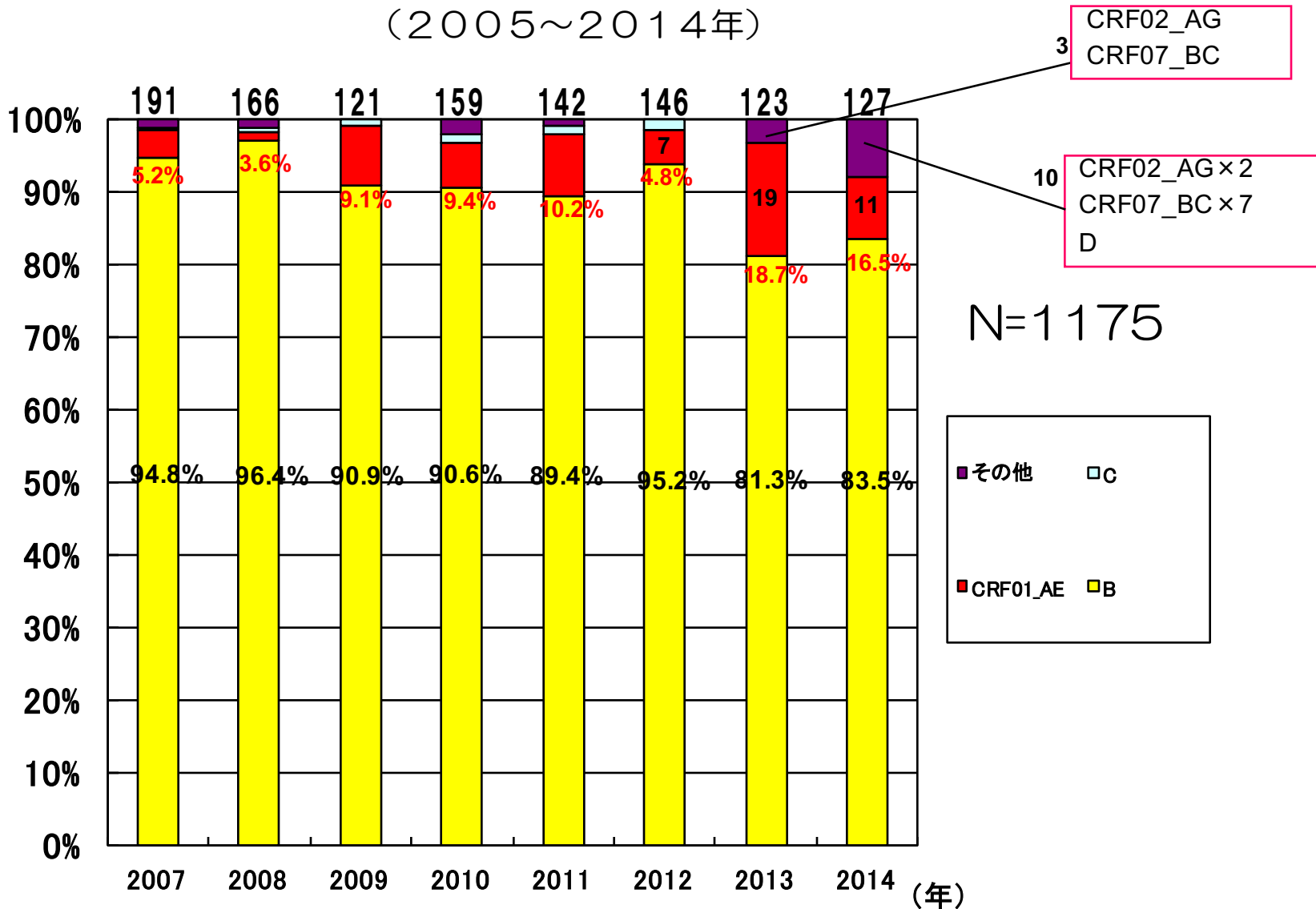
→ AIDS発症まで診断に至らない例が多く、実際のHIV感染者数は報告数より多いことを示唆

日本のHIV感染者のうち保健所陽性数の占める割合 2014年



HIV-1のサブタイプ ; 東京都、新規感染者

(2005~2014年)



議題2

新たなネットワーク体制の構築に向けた討議

- 保健所・地方衛生研究所等におけるHIV検査体制並びにHIV診断技術の維持に関して意見交換を行った。